

～原点を見つめて、あらたな時代を見据えて～

はじめに

新型コロナは世界を変えました。人と人の結びつきが希薄になり、文化活動への逆風が吹きがちな今だからこそ、私たちは文化の持つ力を再確認し、人々に喜びと希望を与えていきたいと考えています。

グローバル化が加速する一方で資本主義の行き詰まりが指摘され、気候変動や格差の拡大、社会の分断、宗教・民族紛争など地球規模での課題が山積しています。インターネットを通じて瞬時に世界を駆けめぐる情報の中には根拠にとぼしいものや意図的に捻じ曲げられたものも少なくないうえ、自分の欲する情報だけを見て同じ志向を持つ人だけが閉ざされた空間に集う傾向が強まっています。

そのような時代にあって私たちは、判断の道しるべとなる正しい情報や真に価値ある文化を発信するとともに、さまざまな人々が集う場を提供していきたいと考えています。

設立から四半世紀を迎え、フランスにおける日本文化の人気がかつてなく高まっている今、私たちは民間からの支援もいただいての「オールジャパン体制」で日本文化を発信することによって日本とフランスの相互理解を促進するという原点に立ち返るとともに、文化が果たすべき役割をあらためて見つめ直し、あらたな時代に向けた文化発信のあり方を追求していきます。

こうした決意のもと私たちはこの中期ビジョンにおいて、今後の活動を進めていくうえでの「柱」を定めました。



## 世界が直面する課題の克服に貢献します

### I

設立以来積み重ねてきた伝統と実績を進化・発展させることに加え、「文化」という言葉をより広い意味にとらえ、SDGsが目指す「持続可能な社会」の実現に貢献します。そのためにも、「自然との共生」や「和の精神」「『MOTTAINAI』に代表される循環型社会」など、日本の社会や文化の特質を伝えることで世界規模の課題への解決の糸口を探るとともに、人々が活発に議論を交わすことができる「場」を提供します。

## 「日本ブランド」に磨きをかけます

### II

バブル崩壊以降の経済低迷や新興国の台頭などによって国際社会での日本の存在感の低下が指摘される一方、いわゆる「ソフトパワー」の重要性がより一層増えています。「ソフトパワー」の中核を成すのは文化であり、その発信力です。パリという国際都市にいる利点を活かして日本文化の魅力強く発信し、「日本」というブランドに磨きをかけます。その一環として個性豊かで魅力的な地域文化の発信も強化し、地域の活性化に貢献します。

## 追い風を活かして世界への「日本の窓」となります

### III

2023年にフランス各地でラグビー・ワールドカップ、2024年にはパリでオリンピック・パラリンピックと、大規模なスポーツの国際大会が相次いで開催され、世界中から大勢の人が訪れます。世界の目がフランスおよびパリに集まるこれらの好機をとらえて日本と日本文化に関する発信を強化し、パリ日本文化会館の存在感を高めます。また、2025年に大阪で万国博覧会が開かれるのを機にできるだけ多くの方々に日本に来ていただけるよう、日本と日本文化の魅力幅広くかつきめ細かく伝えていきます。

## 発信の地平を拡大します

### IV

パリだけでなくフランス各地でも日本文化への関心がこれまでになく高まっています。こうしたニーズに応えるため各地域の文化関係機関との連携や協力を推進するなどして、より広い範囲に向けた日本文化の発信を強化します。あわせて、ネット等の媒体を活用したアフリカを中心としたフランス語圏での日本語や日本文化の普及の可能性を追求します。

## 私たちについてもっと良く知っていただきます

### V

フランス国内はもちろん、日本においてもパリ日本文化会館とその活動についてより知っていただくことで文化施設としての価値を高めるとともに、私たちを支えていただいているステークホルダーへの説明責任を果たします。ウェブサイトやSNS等を通じた広報をより一層充実させるなどして若年層も含めたより幅広い年齢層への認知度向上を目指します。これらの目的を達成するために広報体制を強化すると同時に、フランスや日本における他の機関等との連携を推進します。